

令和 3 年 4 月 26 日

沖縄県がん診療連携協議会議長  
琉大病院長 大屋祐輔 殿

沖縄県がん診療連携協議会患者・家族委員  
安里香代子  
島袋百代  
上原弘美

### 令和 3 年度予算・政策に関する要望書

日頃より、沖縄県のがん対策の推進と強化にご尽力を賜り深く感謝申し上げます。  
また、新型コロナウイルス感染症による対策につきましては、日々刻々と状況が変わる中、  
万全の対策をとるよう鋭意努力され、そのご尽力に大変感謝申し上げます。

さて、昨年より新型コロナウイルス感染症が全国で猛威を振るっており、感染拡大防止の  
ため患者会活動が例年どおりに開催出来ない状況もある中で、先の見えないがん治療への  
不安を抱える患者の想いを、多々受け止めております。また、今年度は 2018 年度から 2023  
年度までを計画年度とする沖縄県がん対策推進計画の中間年度にもあたり、施策の見直し  
も必要な時期となっています。

その中で患者会として、ぜひともご高配を賜りたい内容を選択いたしましたので、下記の  
通り要望いたします。ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

#### 【要望事項】

1. 情報提供
  - ① がんサポートハンドブックの確実な配布と周知・配布ができるシステム作り
  - ② 希少がん・難治がんに対する情報提供およびオンラインでのセカンドオピニオン
2. 相談体制の構築
  - ① 告知後に相談センターにて相談対応できるシステム作り
  - ② がん相談支援センターやピアサポート相談室のオンライン相談対応
  - ③ がんサロンのオンライン開催
3. 離島患者の渡航費助成制度
  - ① 離島患者が治療のための本島へ渡る際にかかる渡航助成金の増額
  - ② 離島僻地在住のがん患者に対するホテル宿泊支援の充実
4. 患者会活動に対する支援
  - ① 活動場所の提供
  - ② 活動費の助成
  - ③ 医療者の講師ボランティア協力や共同でのイベント開催